

2011年度

科目名	日本仏教史A		
担当教員	梯 信暁		
配当	文 2・教育2・人間2	コード	52034
開期	前期	講時	金曜日2限
単位数	2		
授業テーマ	古代日本仏教の展開		
目的と概要	6世紀以降、日本の文化はあらゆる場面で仏教の影響を受けてきました。さまざまな思想・信仰と習合して日本人の習俗・習慣を形成してゆくとともに、個人の尊厳を自覚させるという機能をも果たしました。日本文化の基底をなす各時代の宗教思潮を求めるところをめざしつつ、日本仏教の進展を支えた先達者達の業績にも触れたいと思います。前期開講のAでは、仏教伝来から平安時代中期までを概観します。八宗体制の成立とその根底をなす思潮について考えたいと思います。		
成績評価法	課題レポート80%・授業への取り組み20%		
テキスト	堀一郎『日本の宗教』原書房		
参考書			
履修に当たっての注意・助言/準備学習	シラバスを確認して、あらかじめテキスト・参考資料集を通読し、特に資料は読めるように準備しておいてください。		
講義計画			
<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション：講義の目標と内容の概説 2. 仏教の伝来 3. 聖徳太子 4. 国家仏教の展開 5. 国分寺と東大寺 6. 南都六宗の成立 7. 奈良時代の仏教文化 8. 最澄と天台宗 9. 比叡山の仏教文化 10. 空海と真言宗 11. 密教の特徴 12. 平安仏教の密教化 13. 験者の活動 14. 御霊信仰 15. 中世の胎動 			